

令和５年度公益財団法人福島県スポーツ協会
加盟競技団体へのアンチ・ドーピング啓発活動実施要項

- 1 目 的 ドーピングは、スポーツのフェアプレイ精神に反し、競技者の健康を損ね、薬物の習慣性から社会的な害を及ぼすばかりか、人々に夢や感動を与えるスポーツそのものの意義を失わせ、国民の健康的な生活や未来を担う青少年に対して悪影響を及ぼすものである。そこで、本協会スポーツ医・科学委員会と福島県スポーツファーマシスト協会の協力のもと、アンチ・ドーピングに関する啓発活動を実施し、アスリートをはじめスポーツに関わる全ての方にアンチ・ドーピング活動について正しく理解してもらうことを目的とする。
- 2 主 催 公益財団法人福島県スポーツ協会
- 3 期 間 令和５年５月中旬～令和６年２月中旬
- 4 実施内容 (１) 令和５年度中に全４１競技団体は、アンチ・ドーピング研修会を実施し、「実施報告書」を２週間以内に提出する。
(２) アンチ・ドーピングの意識が低い少年種別を中心に研修会を実施する。
※ 今年度も新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて場合によっては中止や延期の対応をする。
- 5 実施方法 (１) 各加盟競技団体の強化合宿、大会等の余暇時間等を活用して実施する。
※ 研修会実施の際は、感染症対策を講じて行う。
(２) スポーツファーマシスト（講師）を派遣して実施するか、各競技団体が独自に研修会を実施するかを決めて行う。
- 6 スポーツファーマシストを派遣する場合の手順
(１) 各競技団体から電話・FAX・メールで本協会へ申し込む。〈様式４〉
(２) 本協会担当が福島県スポーツファーマシスト協会と日程調整を行う。
(３) 講師は県内在住の JADA 公認スポーツファーマシストとする。
(４) 講師決定後、各競技団体は講師派遣依頼書を本協会へ提出する。〈様式５〉
(５) 講師派遣に係る経費は本協会が負担する。
※ 新型コロナウイルス感染拡大の状況によってはファーマシスト協会からの講師派遣ができない場合がある。
- 7 実施報告 (１) 講師を派遣して実施する場合は、上記「６ スポーツファーマシストを派遣する場合の手順」に沿って手続きし、研修会実施後、〈様式６〉実績報告書と写真データを電子メールで提出する。
(２) 競技団体が独自で実施した場合は、〈様式７〉実施報告書をFAXまたは電子メールにて提出する。
- 8 問合せ先 公益財団法人福島県スポーツ協会 生涯スポーツ係
〒９６０－８０４３
福島市中町８番２号 福島県自治会館６階
E-Mail shougai@sports-fukushima.or.jp
TEL ０２４－５２１－７８９６ FAX ０２４－５２１－７９７１